

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市新田児童館		
2 指定管理者	特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場		
3 指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日		
4 施設の利用状況	《利用者数》 ・令和4年度 43,958人(前年度比 108.1%) ・令和3年度 40,665人 ・令和2年度 32,214人		
	《事業》 ・児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業		
5 収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 67,945千円 (64,572千円) ・ その他市が負担した費用 0円 (0千円)		
	《収入》 ・ 使用料収入 0円 (0千円) ・ その他収入 0円 (0千円)		
6 利用者の声	《実施状況》 ・ 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。		

## 二 管理運営に係る評価 (モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。 なお、児童館管理業務仕様書において月に1回以上実施しなければならないと定められている避難訓練等を実施していない月があった。	29/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	24/24
IV サービスの質の向上	リーフレットや児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子ども達が安心して過ごせる生活の場を整え、学校を中心に各関係機関と連携して育成支援に取り組んでいる。また、乳幼児親子向けの行事開催や交流の場の提供により子育て家庭を支援すると共に、小中高生に対して、発達段階に応じた遊びの指導や活動支援を行っている。地域との交流事業においては、日頃の情報交換や様々な工夫を凝らした事業で地域連携の保持に努めている。	18/18

### 三 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人せんだい杜の子ども劇場）による自己評価》
<p>前年に引き続きコロナ禍で制限のある活動ではあったが、毎日の消毒作業や換気の徹底、個々人の検温・手指消毒・マスク着用の徹底などを丁寧に実施し、安心して児童館の利用や行事参加を進めることができた。</p> <p>■子育て支援拠点館として、安心して過ごせる空間と季節に合わせた行事を提供した。11月オータムコンサートでは常盤木学園高等学校音楽科の生徒8名による合奏・独奏・合唱が行われ、乳幼児親子に生の演奏と合唱を披露した。ハロウィンやクリスマスではフォトブースを設置し記念写真の撮影を提供できた。</p> <p>■児童クラブでは遊戯室の学年毎の時間設定や館庭の活用をすすめ、子どもたちのエネルギー発散を促した。暑さ対策としては水分補給の声かけだけでなく、館庭へのシャワーミストを設置した。各サテライトでも実施した「水遊びタイム」は楽しみだけでなく、暑さ対策としても有効であった。東部市民センターの依頼による敬老者向けの「敬老の日プレゼント」「クリスマスカード」作りは児童クラブの上学年有志が制作し、「よここびの会」を通して敬老者に贈られ喜ばれた。</p> <p>■自由来館の小学生を含めての行事も一部で再開された。10月「ハロウィンパレード」は久しぶりの新田地区内のパレードとなった。子どもたちは思い思いの仮装で地区内のポイントを巡った。地域の方々から声かけやプレゼントをもらい、地域との結びつきを改めて感じることができた。子どもまつりは実施経験のない子どもたちが企画から進め、「ちょこっと子どもまつり」として運営と実践をした。企画会議を重ね、子どもだけの力で開催できたことは大きな自信となった。</p> <p>■SOATとの協働では「不思議な水族館」をテーマとしたワークショップと「坪沼の自然体験」、森探検を行った。</p> <p>■地域公開セミナーを10月に瀧教授（脳科学）と田原氏（ピアニスト）を迎え、82名の参加が得られた。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>児童健全育成事業においては、様々な素材や用具を準備して、日常の遊びの中で自由に制作ができるよう環境を整えた、遊びで行っていた「ビー玉迷路・びーころ」や「CDコマ」を自分達で手作りして楽しむ姿があり、創作活動の広がりや豊かな感性を育む取り組みとなっている。土曜日の自由来館では中高生の利用が定期的であり、職員とおしゃべりをして気持ちをリフレッシュしたり、小学生と一緒に遊びながら交流を楽しんだり、児童館が放課後の居場所の一つとなっている。</p> <p>子育て家庭支援事業においては、登録制の幼児クラブと共に、年齢毎の「ひろば」を月1回申込制で実施した。わらべ歌や親子の触れ合い遊び・工作等と共に、保護者の希望を受けて離乳食講座や英語で遊ぼうを取り入れ、多彩な内容で実施し好評を得ている。保護者の産後ケアと親子の触れ合いを楽しむ「産後ダンス」も定期的に開催する等、乳幼児への豊かな遊びと共に、保護者支援と保護者同士の交流を広げる支援を行っている。「ほっこりサロン」では、地域の祖父母世代や民生委員と子育て世代が遊びを通して交流を図ったり、おさがり会を行うなど、子育て家庭支援に対する取り組みを通して、地域で子育てを支援する環境作りにも努めている。</p> <p>地域交流推進事業においては、地域商店街やコミュニティセンターの協力のもと、ハロウィンパレードを再開した。3年ぶりの実施だったが、地域の方との交流や住んでいる新田地区内を改めて知る機会となった。また、地域情報公開セミナー「ピアノコンサートと脳科学の世界」を開催した。新田小学校父母教師会の協力もあり、子ども達を始めとして多くの方が参加し、地域でより良い子どもの育ちを支える支援を行っている。</p> <p>放課後児童健全育成事業においては、館外ワークショップ「そあとの庭」で坪沼自然体験を継続的に実施し、豊かな自然体験の場を提供している。高学年児童からコロナ禍で休止していた「でんでんタイム」開催への声が上がったことを受けて、「ちょこっとこどもまつり」を新たに開催した。子どもスタッフを募集して高学年がリーダーとなって企画準備し、実現可能な支援をしたことで子ども達の達成感や自己有用感が生まれ、次の活動への意欲が高まる取り組みとなった。</p>	A

### 四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：こども若者局こども若者支援部児童クラブ事業推進課